

## 令和2年度 歯科疾患の受診者数及び医療費の動向 —う蝕、歯肉炎・歯周疾患、歯及び歯の支持組織の障害—

令和4年8月  
健康保険組合連合会  
政策部 調査分析グループ

### 【調査の概要】

本調査は、1,250 組合提供の診療報酬明細書（レセプト）データをもとに、令和2年度における歯科疾患（う蝕、歯肉炎・歯周疾患、歯及び歯の支持組織の障害）の受診者数及び医療費の動向をとりまとめたものです。

### 【調査結果のポイント】

1. 歯科（消化器系疾患）の医療費の概況  
(医療費及び構成割合)
  - 疾病分類医療費計（医科・歯科（消化器系疾患）計：2兆7,587億円）のうち、歯科（消化器系疾患）は疾病分類中、最も高く、4,648億円と医療費全体の16.8%。  
(対前年度比伸び率)
  - 歯科計は1.2%の増加、歯科（消化器系疾患）は3.0%の増加となった。
2. 歯科3疾患の受診状況  
(加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）)
  - 歯肉炎・歯周疾患が104.9人と最も多く、次いで、う蝕：12.3人、歯及び歯の支持組織の障害：7.9人。
3. 歯科3疾患の医療費の動向  
(医療費及び構成割合)
  - 歯科（消化器系疾患）（4,648億円）のうち、歯肉炎及び歯周疾患が14.4%（3,885億円）と最も高く、次いで、う蝕：1.4%（387億円）、歯及び歯の支持組織の障害：1.3%（355億円）。  
(対前年度比伸び率)
  - 歯肉炎・歯周疾患：3.6%、歯及び歯の支持組織の障害：2.0%の増加。う蝕は▲1.3%の減少となった。  
(受診者1人当たり医療費)
  - 歯及び歯の支持組織の障害が1万4,964円と最も高く、次いで、歯肉炎・歯周疾患：1万2,297円、う蝕：1万415円。

## 目次

本調査における留意点、用語の定義	3
1. 疾病 19 分類でみた歯科（消化器系疾患）の動向	
(1) 医療費の概況	6
(2) 加入者 1 人当たり医療費及び伸び率	8
(3) 加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均）	11
2. 歯科 3 疾患の受診状況	
(1) 加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均）	12
(2) 年齢階層別にみた受診者数（年度平均）及び構成割合	13
(3) 歯科 3 疾患別 加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均）	15
3. 歯科 3 疾患医療費の動向	
(1) 医療費の概況	16
(2) 受診者 1 人当たり医療費	18
(3) 年齢階層別にみた歯科 3 疾患医療費	19

## 本調査における留意点、用語の定義

### 1. 統計上の歯科疾患の取り扱い

調査対象の疾患は、診療区分の「歯科計」のうち、「消化器系疾患」及び「歯科3疾患」（①う蝕、②歯肉炎及び歯周疾患、③歯及び歯の支持組織の障害）とした。

歯科計のうち、「消化器系疾患」を対象としているのは、疾病19分類中、当該分類が疾病分類医療費（歯科）の97.4%を占め、かつ、①う蝕、②歯肉炎及び歯周疾患、③歯及び歯の支持組織の障害—の歯科主要3疾患が計上されていることによる。表記については、便宜上、「歯科（消化器系疾患）」とした。

なお、「消化器系疾患」の疾患別医療費構成割合は、▽う蝕：8.3%、▽歯肉炎及び歯周疾患：83.6%、▽歯及び歯の支持組織の障害：7.6%、▽その他：0.5%—となっており、①～③の主要3疾患で99.5%を占める。

また、統計処理の関係上、疾病医療費の合計が必ずしも一致しない場合がある。

### 2. 調査対象1,250組合の医療費データ及び加入者数

1,250組合の診療報酬明細書（レセプト）のデータを集計対象とした。また、対前年度比伸び率の算出にあたっては、1,250組合のうち、データ提供のあった令和2年度と元年度同一の1,219組合を集計対象としている。なお、医科及び歯科、歯科3疾患の各医療費には調剤医療費は含まれていない。

#### 1) 令和2年度医療費：1,250組合

	レセプト件数（件）	医療費総額（円）
計	256,621,980	3,641,560,601,030
医科	133,092,432	2,378,182,832,180
歯科	39,341,793	479,474,808,490
調剤	84,187,755	783,902,960,360

#### 加入者数

1,250組合	加入者数（人）
計	25,107,907
本人	14,518,174
家族	10,589,790

2) 対前年度比伸び率：1,219 組合（令和 2 年度と元年度の両年度同一組合）

1,219 組合	レセプト件数（件）		医療費総額（円）	
	令和 2 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和元年度
計	251,212,283	285,983,988	3,564,042,673,980	3,753,211,760,984
医科	130,294,423	150,247,091	2,327,395,123,880	2,490,772,434,804
歯科	38,531,256	40,815,778	469,535,703,450	463,988,186,150
調剤	82,386,604	94,921,119	767,111,846,650	798,451,140,030

加入者数

1,219 組合	加入者数（人）	
	令和 2 年度	令和元年度
計	24,595,834	24,682,678
本人	14,239,547	14,154,967
家族	10,356,342	10,527,836

3. 用語の定義

① 加入者 1 人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したものの）で除したものの。

② 受診率（1,000 人当たりレセプト件数）

当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したものの）で除し 1,000 倍したものの。

③ レセプト 1 件当たり日数

当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したものの。

④ 1 日当たり医療費

当該年度の医療費を診療実日数で除したものの。

⑤ 加入者 1 人当たり医療費と医療費 3 要素分解

加入者 1 人当たり医療費は、受診率、1 件当たり日数、1 日当たり医療費の積に分解することができる。

（※加入者 1 人当たり医療費＝受診率×1 件当たり日数×1 日当たり医療費）

⑥ 平均受診者数（年度平均）

当該年度の各月の受診者数の和を 12 で除したものの。

これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、受診者数については当該月に報告のあった受診者数に他の月と同一の受診者が計上される場合があることから、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を 12 で除した推計値を用いている。

⑦ 加入者 1,000 人当たり受診者数

当該年度の受診者数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したものの）で除し 1,000 倍したものの。

⑧ 受診者 1 人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均受診者数で除したものの。

なお、上記①の加入者 1 人当たり医療費は、加入者 1 人当たり受診者数、受診者 1 人当たり医療費に分解することができる。

（※加入者 1 人当たり医療費＝加入者 1 人当たり受診者数×受診者 1 人当たり医療費）

# 1. 疾病 19 分類でみた歯科（消化器系疾患）の動向

## (1) 医療費の概況

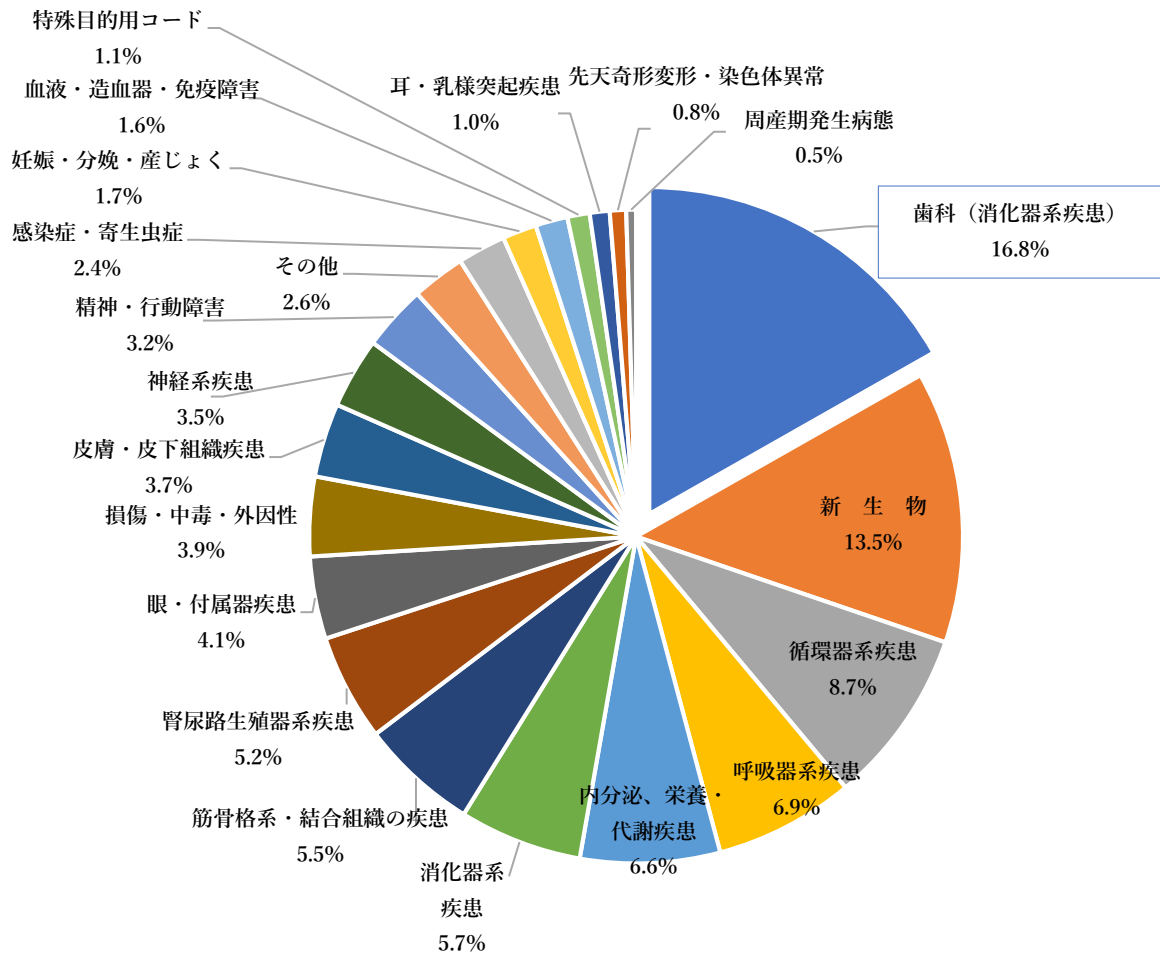
### ① 医療費及び構成割合

- 疾病分類医療費計（医科及+歯科（消化器系疾患）計：2兆7,587億円）のうち、歯科（消化器系疾患）の医療費は疾病分類中、最も高く医療費全体の16.8%（4,648億円）を占める。

### 令和2年度 医療費及び構成割合

1,250 組合	医療費 (円)	構成割合 (%)
疾病分類【計】(医科・歯科(消化器系疾患))	2,758,678,565,190	(100.0)
うち、歯科(消化器系疾患)	464,768,124,260	16.8

令和2年度 疾病分類別 医療費構成割合  
【医科+歯科（消化器系疾患）計】



② 対前年度比伸び率

- 医科計は▲6.6%と大きく減少したが、歯科計は1.2%の増加、歯科（消化器系疾患）は3.0%の増加となった。

対前年度伸び率：1,219 組合（1,250 組合のうち令和2年度と元年度同一組合）

1,219 組合	伸び率 (%)
医科・歯科【計】	▲5.3
医科【計】	▲6.6
歯科【計】	1.2
歯科（消化器系疾患）	3.0

参考：疾病分類別医療費構成割合（前年度調査との比較） (%)

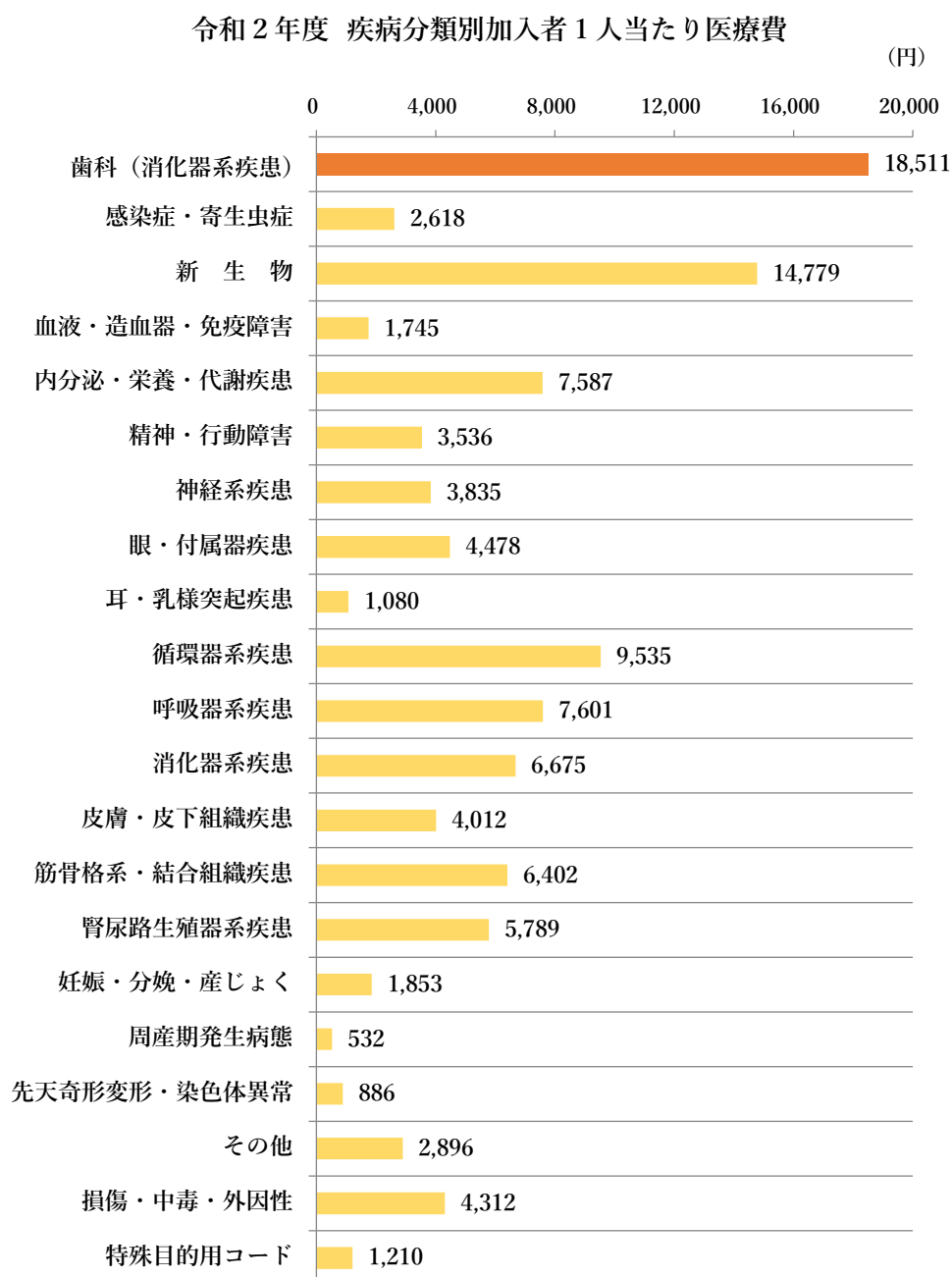
疾病分類名	令和2年度 (1,250 組合)	(参考) 元年度調査 (1,295 組合)
歯科（消化器系疾患）	16.8	15.4
新生物	13.5	12.9
循環器系疾患	8.7	8.5
呼吸器系疾患	6.9	10.6
内分泌・栄養・代謝疾患	6.9	6.7
消化器系疾患	6.1	5.9
筋骨格系・結合組織疾患	5.8	5.7
腎尿路生殖器系疾患	5.3	4.9
眼・付属器疾患	4.1	3.9
損傷・中毒・外因性	3.9	4.1
皮膚・皮下組織疾患	3.7	3.4
神経系疾患	3.5	3.2
精神・行動障害	3.2	3.1
その他	2.6	3.4
感染症・寄生虫症	2.4	2.8
妊娠・分娩・産じょく	1.7	1.6
血液・造血器・免疫障害	1.6	1.5
特殊目的用コード	1.1	0.0
耳・乳様突起疾患	1.0	1.1
先天奇形変形・染色体異常	0.8	0.8
周産期発生病態	0.5	0.5

注) 円グラフ及び表中の「その他」は、「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「不詳」である（以下、同じ）。

(2) 加入者1人当たり医療費及び伸び率

① 加入者1人当たり医療費

○ 歯科（消化器系疾患）は、疾病分類中最も高く、1万8,511円となっている。





② 対前年度比伸び率

- 3.4%の増加。要因として、受診率は▲3.6%の減少となったが、1日当たり医療費が6.5%と大きく増加した。

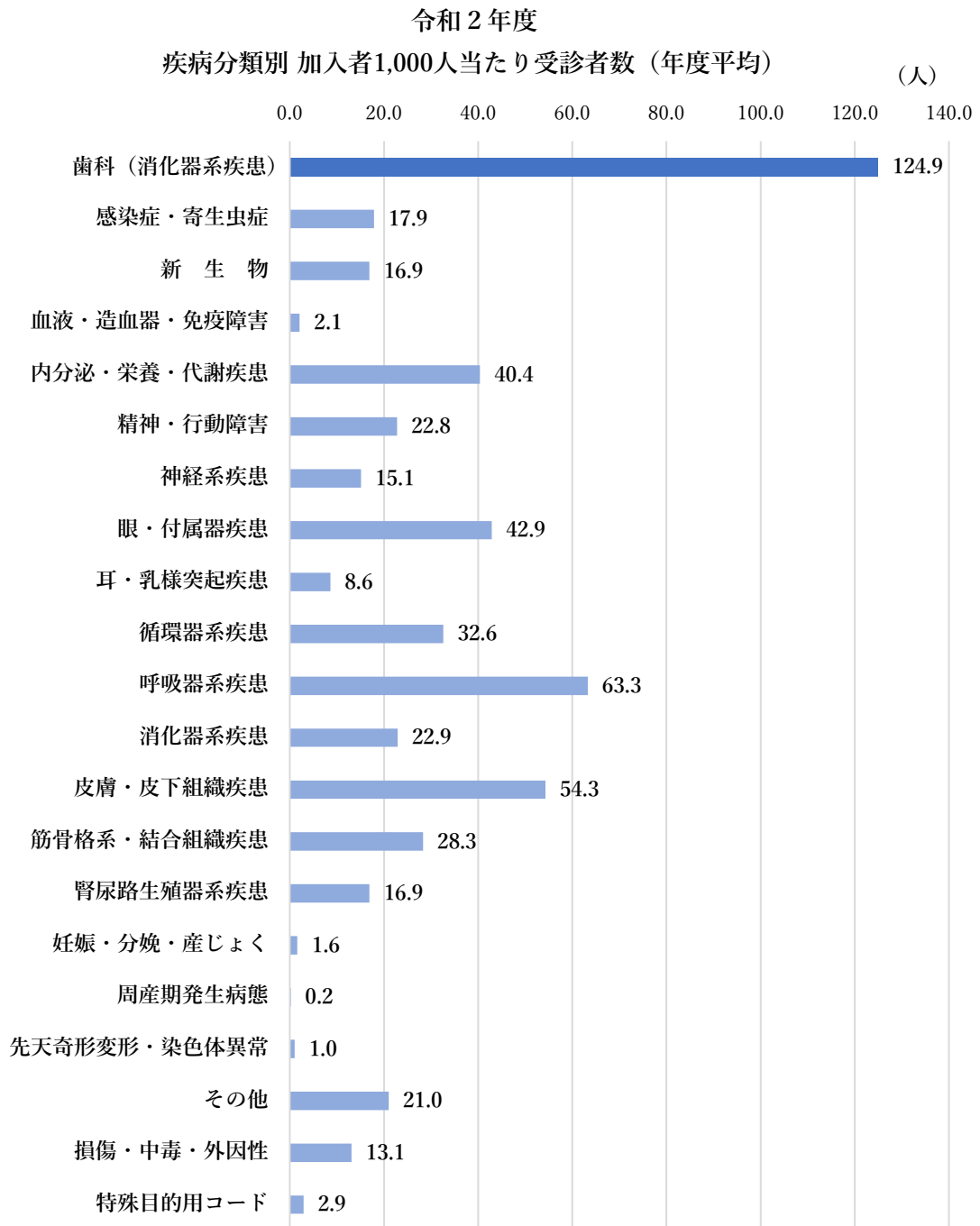
令和2年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース） (%)

疾病分類名	加入者1人当たり 医療費 <sup>1</sup>	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
歯科（消化器系疾患）	3.4	▲ 3.6	0.6	6.5
感染症・寄生虫症	▲ 18.5	▲ 23.5	4.7	2.0
新生物	▲ 0.4	▲ 4.0	▲ 0.6	4.3
血液・造血器・免疫障害	1.2	▲ 9.7	▲ 1.7	14.2
内分泌・栄養・代謝疾患	▲ 1.2	▲ 0.0	▲ 3.2	1.8
精神・行動障害	▲ 1.5	1.5	▲ 2.4	▲ 0.8
神経系疾患	2.3	2.8	▲ 1.3	1.3
眼・付属器疾患	▲ 0.5	▲ 5.6	0.0	5.3
耳・乳様突起疾患	▲ 18.6	▲ 16.7	▲ 6.5	4.9
循環器系疾患	▲ 2.9	▲ 1.6	▲ 2.3	0.3
呼吸器系疾患	▲ 38.3	▲ 42.3	▲ 3.6	10.7
消化器系疾患	▲ 1.6	▲ 3.1	▲ 0.7	2.4
皮膚・皮下組織疾患	2.8	3.4	▲ 1.6	1.0
筋骨格系・結合組織疾患	▲ 2.4	▲ 4.1	1.9	▲ 0.4
腎尿路生殖器系疾患	1.0	2.4	0.0	▲ 1.4
妊娠・分娩・産じょく	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 3.1	3.4
周産期発生病態	▲ 1.5	▲ 2.1	▲ 2.6	3.4
先天奇形変形・染色体異常	▲ 4.3	▲ 4.2	▲ 1.2	1.1
他に分類されないもの	▲ 8.6	▲ 9.1	0.0	0.2
損傷・中毒・外因性	▲ 9.0	▲ 10.3	1.9	▲ 0.5
特殊目的用コード	-	-	17.6	▲ 2.8

<sup>1</sup> 加入者1人当たり医療費＝受診率×1件当たり日数×1日当たり医療費

(3) 加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

○ 疾病 19 分類中、最も多く、124.9 人となっている。



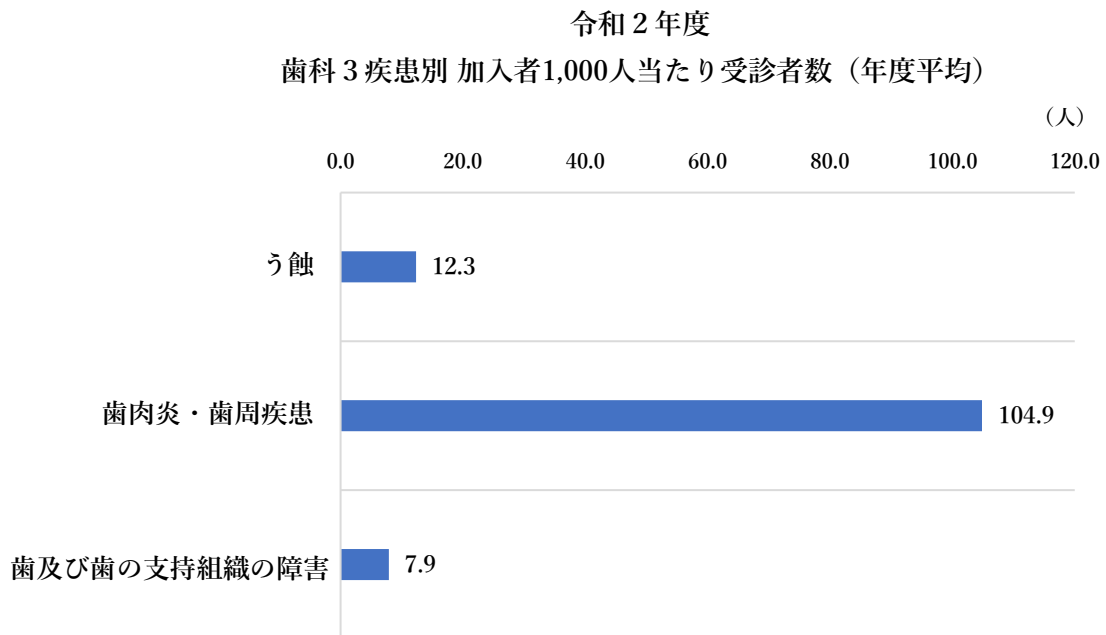
令和2年度 疾病分類別 受診者数（年度平均）及び加入者1,000人当たり受診者数

1,250 組合	受診者数（年度平均） （人）	加入者1,000人当たり 受診者数（人）
歯科（消化器系疾患）	3,136,668	124.9
感染症・寄生虫症	448,530	17.9
新生物	424,404	16.9
血液・造血器・免疫障害	53,689	2.1
内分泌・栄養・代謝疾患	1,014,389	40.4
精神・行動障害	571,965	22.8
神経系疾患	378,823	15.1
眼・付属器疾患	1,075,980	42.9
耳・乳様突起疾患	215,324	8.6
循環器系疾患	818,067	32.6
呼吸器系疾患	1,590,310	63.3
消化器系疾患	574,361	22.9
皮膚・皮下組織疾患	1,362,943	54.3
筋骨格系・結合組織疾患	709,456	28.3
腎尿路生殖器系疾患	424,000	16.9
妊娠・分娩・産じょく	41,264	1.6
周産期発生病態	4,670	0.2
先天奇形変形・染色体異常	25,253	1.0
その他	527,793	21.0
損傷・中毒・外因性	327,857	13.1
特殊目的用コード	72,444	2.9

## 2. 歯科3疾患の受診状況

### (1) 加入者1,000人当たり受診者数(年度平均)

- 歯肉炎・歯周疾患が104.9人と最も多く、次いで、う蝕：12.3人、歯及び歯の支持組織の障害：7.9人。



### 令和2年度 受診者数及び加入者1,000人当たり受診者数

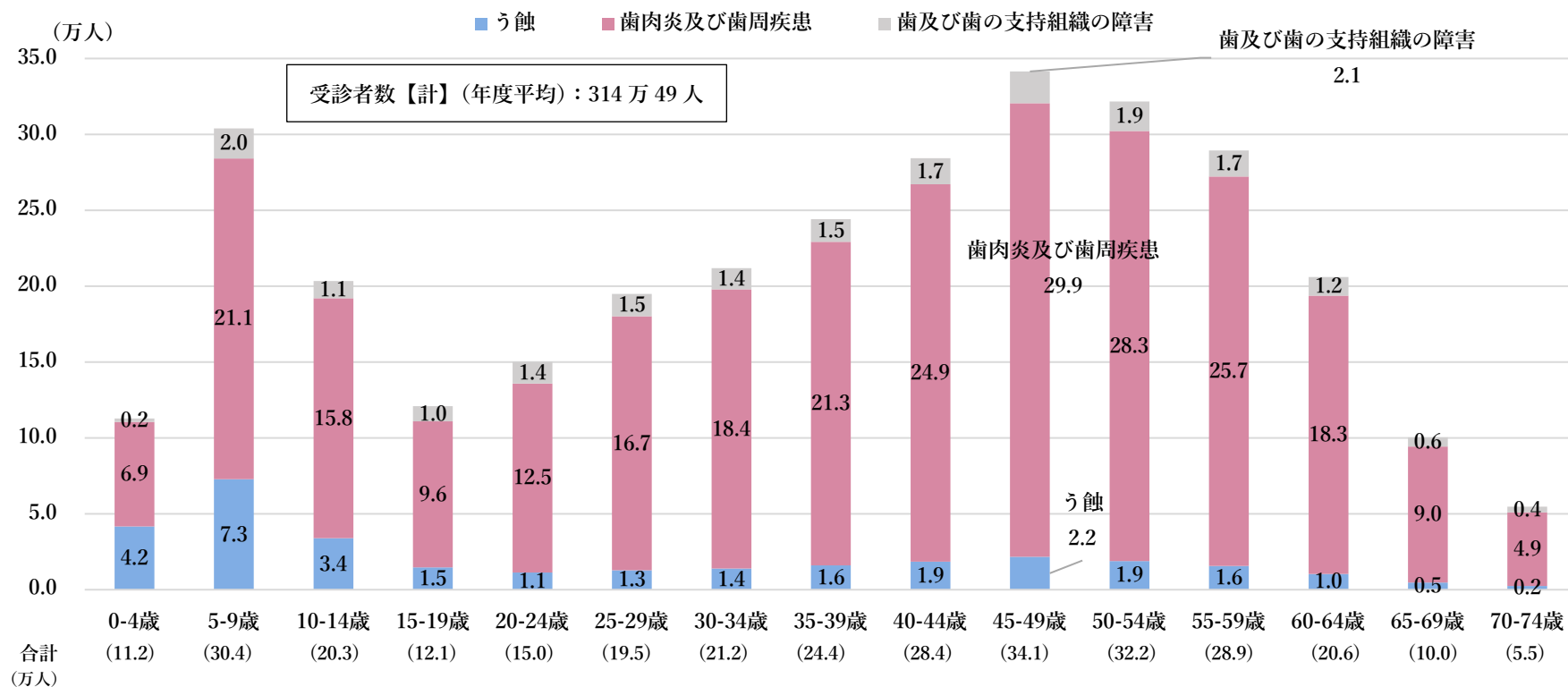
1,250 組合	受診者数(年度平均) (人)	加入者1,000人当たり 受診者数(人)
う蝕	309,598	12.3
歯肉炎・歯周疾患	2,632,709	104.9
歯及び歯の支持組織の障害	197,741	7.9

(2) 年齢階層別にみた受診者数（年度平均）及び構成割合

① 受診者数（年度平均）

- 受診者総数（積み上げ）では45-49歳（34.1万人）が最も多く、次いで、50-54歳（32.2万人）、5-9歳（30.4万人）。
- 総数が最も多い45-49歳の構成をみると、歯肉炎及び歯周疾患（29.9万人）が最も多く、次いで、う蝕（2.2万人）、歯及び歯の支持組織の障害（2.1万人）。

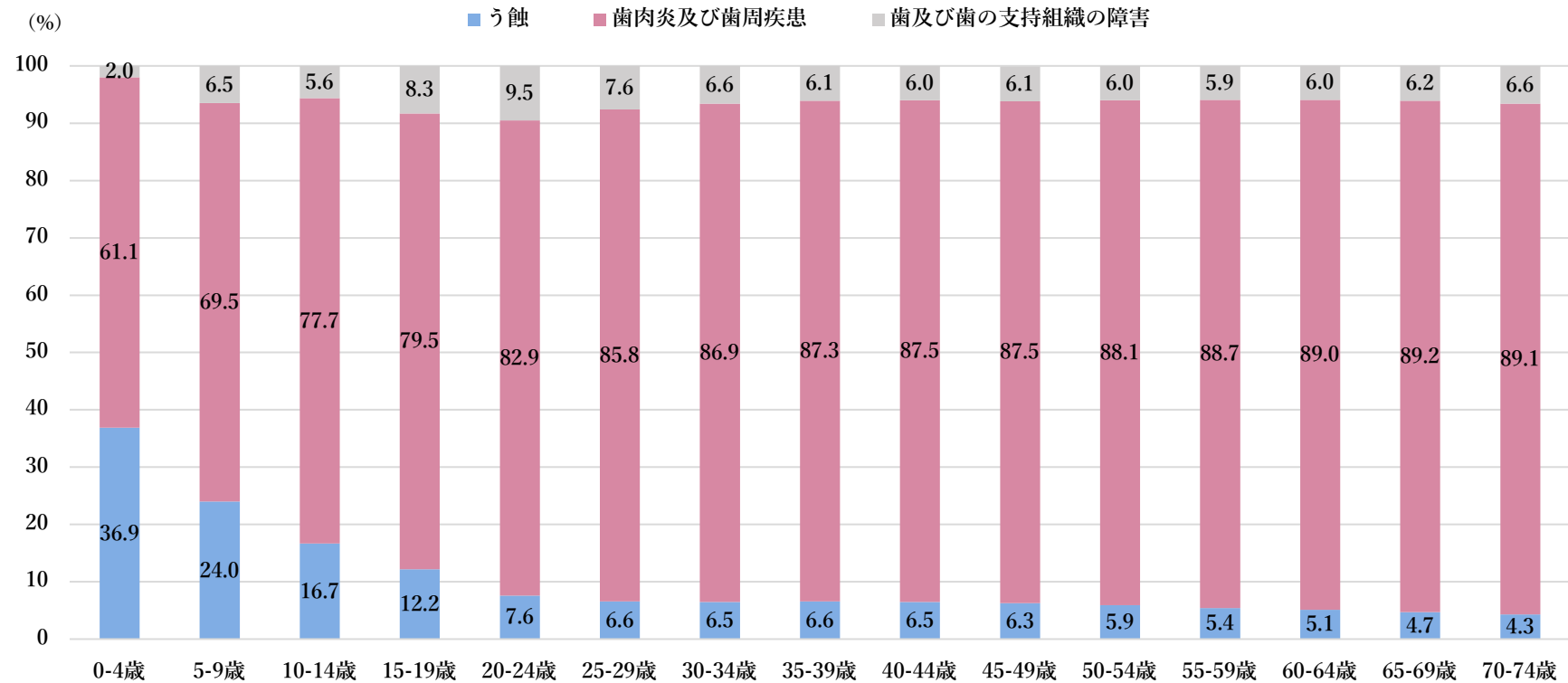
令和2年度 年齢階層別 歯科3疾患別 受診者数（年度平均）



② 構成割合

- 20歳未満では、う蝕の受診者が10%以上を占め、0-4歳：36.9%、5-9歳：24.0%。
- 20歳以降では、歯肉炎及び歯周疾患の受診者が80%以上を占め、20-24歳：82.9%、40-44歳：87.5%、65-64歳：89.2%。

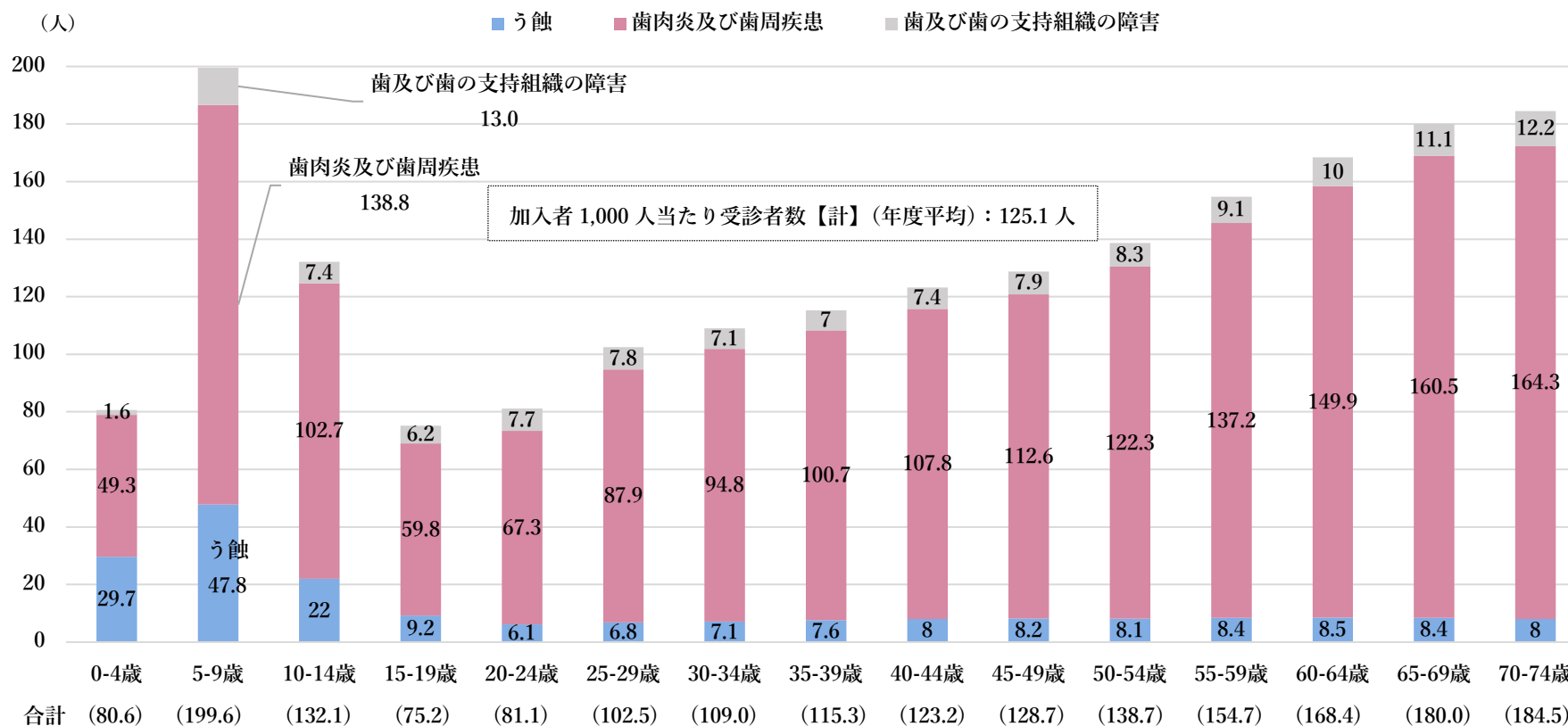
令和2年度 年齢階層別 歯科3疾患別 受診者数（年度平均）構成割合（%）



(3) 歯科3疾患別 加入者1,000人当たり受診者数(年度平均)

- 歯科3疾患の受診者総数(積み上げ)では5-9歳:199.6人が最も多く、次いで、70-74歳:184.5人、65-69歳:180.0人。
- 総数の最も多い5-9歳の構成をみると、歯肉炎及び歯周疾患:138.8人が最も多く、次いで、う蝕:47.8人、歯及び歯の支持組織の障害:13.0人。

令和2年度 年齢階層別 歯科3疾患別 加入者1,000人当たり受診者数(年度平均)



### 3. 歯科3疾患の医療費の動向

#### (1) 医療費の概況

##### ① 医療費及び構成割合

- 歯科（消化器系疾患）（4,648 億円）のうち、歯肉炎及び歯周疾患が 14.1%（3,885 億円）と最も高く、次いで、う蝕：1.4%（387 億円）、歯及び歯の支持組織の障害：1.3%（355 億円）。

#### 令和2年度 医療費及び構成割合

1,250 組合	医療費（円）	構成割合（%）
疾病分類【計】（医科・歯科（消化器系疾患））	2,758,678,565,190	100.0
歯科（消化器系疾患）	464,768,124,260	16.8
う蝕	38,692,418,730	1.4
（再掲）歯肉炎及び歯周疾患	388,494,396,780	14.1
歯及び歯の支持組織の障害	35,507,243,630	1.3

##### ②対前年度比伸び率

- 歯肉炎・歯周疾患が 3.6%、歯及び歯の支持組織の障害が：2.0%—の増加。
- う蝕は▲1.3%の減少となった。

#### 令和2年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース）

1,219 組合	伸び率（%）
う蝕	▲1.3
歯肉炎・歯周疾患	3.6
歯及び歯の支持組織の障害	2.0



③ 歯科3疾患別 加入者1人当たり医療費及び3要素

【加入者1人当たり医療費】

- 歯肉炎・歯周疾患が1万5,473円と最も高い。

【受診率】

- 歯肉炎・歯周疾患が1,265.6件と最も高い。

【1件当たり日数】

- 歯及び歯の支持組織の障害が2.0日と最も長い。

【1日当たり医療費】

- 歯肉炎・歯周疾患が7,639円と最も高く、次いで、歯及び歯の支持組織の障害：7,501円。

令和2年度 加入者1人当たり医療費及び3要素

1,250 組合	加入者1人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
う蝕	1,541	148.3	1.5	7,182
歯肉炎・歯周疾患	15,473	1,265.6	1.6	7,639
歯及び歯の支持組織の障害	1,414	96.0	2.0	7,501

④ 加入者1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率

- う蝕が▲2.5%の減少。要因として、1日当たり医療費が6.6%と増加したものの、受診率が7.9%と大きく減少した。
- 歯肉炎・歯周疾患：4.0%と増加。要因として、受診率が▲2.9%と減少したものの、1日当たり医療費が6.4%と大きく増加した。

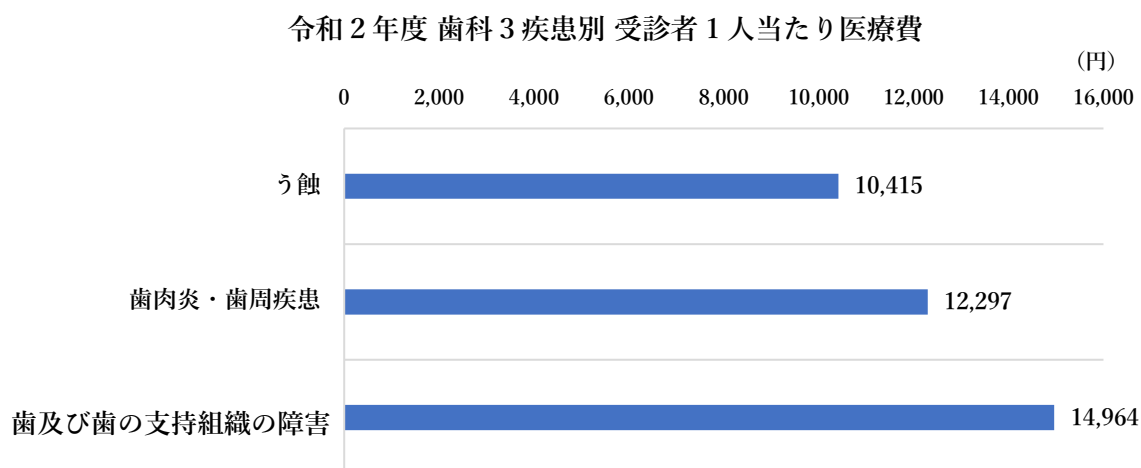
令和2年度 対前年度伸び率（※両年度同一の1,219組合ベース）

(%)

1,219 組合	加入者1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
う蝕	▲1.0	▲7.9	1.4	6.6
歯肉炎・歯周疾患	4.0	▲2.9	0.6	6.4
歯及び歯の支持組織の障害	2.5	▲5.5	1.0	7.0

(2) 受診者1人当たり医療費

- 歯及び歯の支持組織の障害が1万4,964円と最も高く、次いで、歯肉炎・歯周疾患：1万2,297円、う蝕：1万415円。



令和2年度 受診者1人当たり医療費

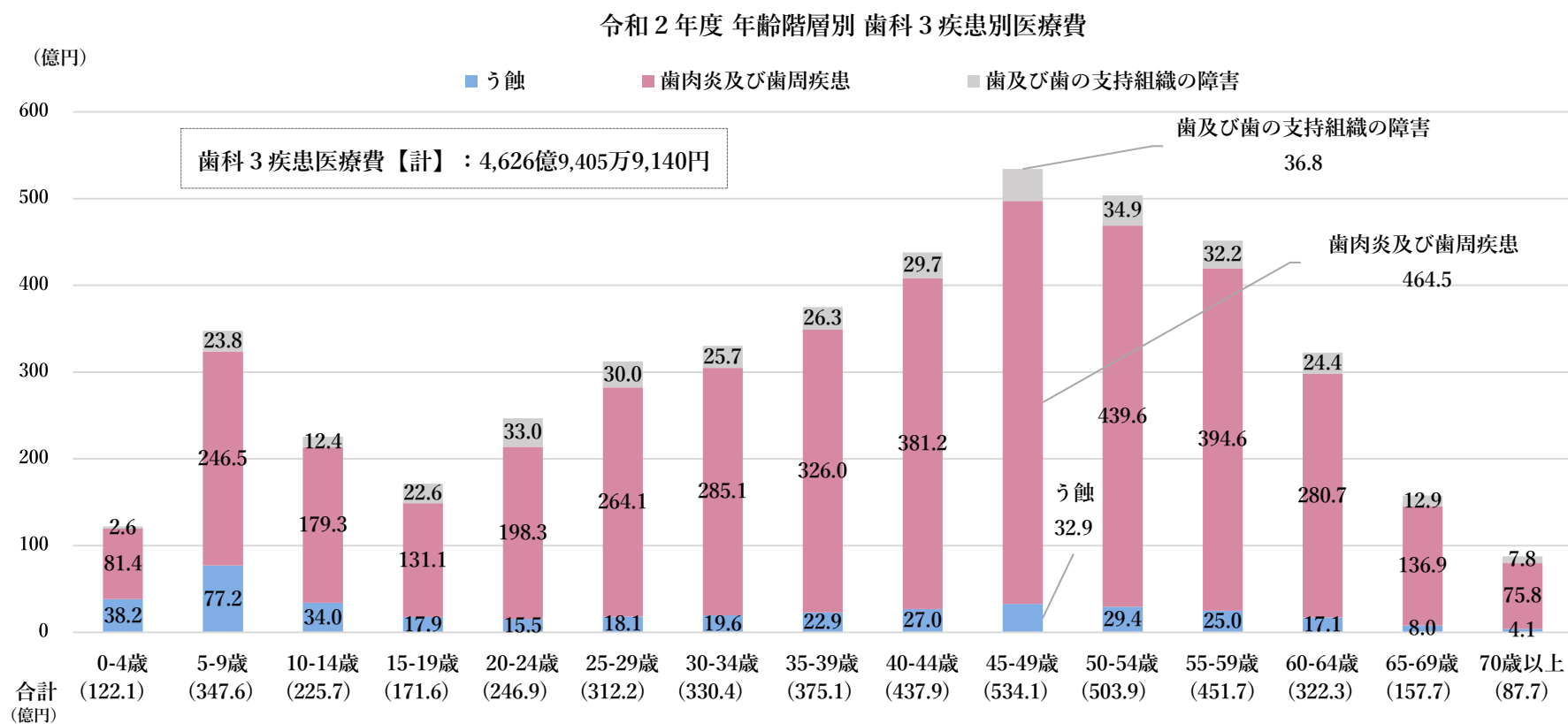
1,250 組合	受診者1人当たり 医療費(円) <sup>2</sup>	加入者1,000人当たり 受診者数(人)	加入者1人当たり 医療費(円)
う蝕	10,415	12.3	1,541
歯肉炎・歯周疾患	12,297	104.9	15,473
歯及び歯の支持組織の障害	14,964	7.9	1,414

<sup>2</sup> 加入者1人当たり医療費=加入者1人当たり受診者数×受診者1人当たり医療費

### (3) 年齢階層別にみた歯科3疾患医療費

#### ① 医療費

- 総額（積み上げ）では45-49歳（534.1億円）が最も高く、次いで、50-54歳（503.9億円）、55-59歳（451.7億円）。
- 総額が最も高い45-49歳の構成をみると、歯肉炎及び歯周疾患が464.5億円と最も高く、次いで、歯及び歯の支持組織の障害：36.8億円、う蝕：32.9億円。



② 構成割合

- 20歳未満では、う蝕の医療費が10%以上を占め、0-4歳：31.3%、5-9歳：22.2%。
- 20歳以降では、歯肉炎及び歯周疾患の医療費が80%以上を占め、55-59歳：87.3%と最も高く、次いで、50-54歳：87.2%、60-64歳：87.1%。

令和2年度 年齢階層別 歯科3疾患医療費 構成割合 (%)

